

Eビザの面接のポイント (Managerial / Executive Employee)

1. はじめに

- Eビザの申請には管理職 (managerial employee / executive employee) とスペシャリスト (essential employee) の2つのカテゴリーがあります。
- どちらに該当するかはサポートレターの1ページ目、Summary of the applicationの Type of Applicantでご確認いただけます。

2. Managerial / Executive Employeeとは

- ビザ審査のガイドラインであるForeign Affairs ManualではManagerial / Executive Employeeを以下のように説明しています。
 - 役職、その会社の組織体制における立場、そのポジションの責務、申請者が会社の全体運営もしくはその主要素に対して持つ最終的な権限及び責任の程度、申請者が監督する社員の人数及び能力水準、申請者の給与水準及び申請者が条件を満たす経営幹部もしくは監督者の経験を有していなければなりません。
 - 管理者及び監督者的要素が主要な職務であり、二次的もしくは付随的な職務でないかどうか。例えば、ポジションが主にライン・マネジメントとしての管理能力を必要とする、もしくは会社の運営の大部分の主要な監督責任を伴う場合、スタッフ的な日常定型的業務は付随的に生じるのみでなければなりません。
 - ポジションが主に日常定型的業務を伴い、部下の監督を伴うものが二次的である場合、そのポジションは管理者もしくは監督者とは呼べません。例えば、“部長”もしくは“課長”の肩書は、申請者が多数の社員を有する大きな事業にやって来る場合、そのポジションの監督的性質の評価に際し役立つかも知れませんが、申請者が小さな二人のオフィスにやって来るのであれば、そういった肩書自体はそれほど意味を持ちません。ポジションの役職、その会社の組織体制における立場、そのポジションの責務、申請者が会社の全体運営もしくはその主要素に対して持つ最終的な権限及び責任の程度、申請者が監督する社員の人数及び能力水準、申請者の給与水準及び申請者が条件を満たす経営幹部もしくは監督者の経験を有しているかどうかを確立する必要があります。

3. Managerial / Executive Employeeの審査のポイント

- サポートレターで必要な説明はなされていますが、領事から補足説明を求められることがあります。その場合は以下のポイントに注意してお答えください。
- 前述のように、まず申請者の役割が米国拠点にとって必要不可欠かどうかを見ます。管理能力を有する申請者を派遣することができないとくに困るか、事業にどのような支障がでるのか、なるべく具体的かつ平易な表現を用いてご説明ください。「この人が派遣できないと確かに困る」と領事が実感できるように、部下の人数、担当する顧客数、所属する部門の売り上げなど、数字、固有名詞などを入れると効果的です。
- 次に申請者の管理能力を有するかは以下のポイントを見ています。これらのポイントに準じて、具体的に平易な表現を用いてご説明ください。
 - 十分な管理職経験があるのか
 - 米国拠点のポジションは管理者と言えるか
 - 現地で採用することが難しいか
 - 管理能力を反映した給与か

4. 領事の質問への対応

- 今回の申請でなにをManagerial / Executive Positionとして主張しているかをご確認ください。サポートレターのThe applicant's qualifications記載されています。
- ご自身の Executive Positionと前述の審査のポイントを理解した上で、以下の質問への回答をご準備ください。
 - 米国拠点の組織におけるあなたポジションを説明してください。部下はどのような人（タイトル、学歴、経験など）が何人ぐらいつきますか？
 - あなたの管理者としての役割と権限（責任）を説明してください。
 - あなたが管理者として求められる能力はこれまでのどのような経験を通して習得しましたか？
 - あなたのサラリーはいくらですか？管理者として低くありませんか？
 - プレイイングマネージャーのようにスタッフと同じ業務もしますか？その場合どのような業務ですか？管理業務とのウェイトを説明してください。
 - 上司もいるのになぜあなたのポジションが必要なのですか？中間管理職としての役割を説明してください。
 - あなたの管理職経験/英語力でアメリカ人の部下をどう管理するのですか？
 - あなたを派遣できないと米国拠点の運営にどのような支障が生じますか？
 - あなたの言う管理能力を有する人はアメリカにもいます。なぜ現地採用ではダメなのですか？

5. 一般的な注意事項

- フレーズは短く、簡潔にお答えください。
- 英語が苦手の方も初めは英語でお答えください。ただし英語での回答が難しいと感じた場合は、誤解の無いよう正確の伝えたい、として日本人スタッフの通訳をご依頼ください。留学などのビザと異なり、高い英語力が求められる業務ばかりではありませんので、通常就労ビザで英語力が理由でビザの申請が拒否されることはありません。英語での面接は慣れていないが、実務を行う上では問題ないをご説明ください。ただしポジションによってはこの英語力ではそのポジションの業務は遂行できず、必要とされる能力に欠けると判断される可能性もあります。
- 面接の際メモなどを見ながら回答をすることはお避けください。回答をそのまま読み上げているとみなされ、指摘を受けたことがあります。必要に応じて確認する程度にとどめてください。
- これまでの経験、保有する知識と実績に自信を持ち、堂々と胸を張って面接にお臨みください。